

札幌北高定時制だより

令和8年度 第5号 2026.8.7

名作との出会いと、身を守る自覚を ～夏休み前の全校集会・校長講話より～

夏季休業に入る前に全校集会が行われ、校長先生からお話がありました。鈴木校長先生は、「先日訃報が伝えられた作家・東野圭吾さんの作品『白夜行』『幻夜』などの魅力を挙げ、設定やサスペンスの面白さに触れながら、この夏休みに心揺さぶる名作などの**読書に親しむこと**」を勧めていただきました。

そして「**海や川での水難事故**、さらに急速に**増加している交通事故や自転車事故**など、日常の中に潜む想定外の危険に対して常に警戒すること」と生徒に訴えておられました。全校生徒に「過去に起きた痛ましい事故の教訓を決して忘れることなく、一人ひとりが高い安全意識を持ち、仕事や用事で忙しい日々の中でも時間を有効に使いながら、二度と戻らない『今年の夏』を大切に過ごしてほしい」と夏休みの充実を願っておられました。

芸術鑑賞行事 映画館で広がる豊かな世界

7月27日、各自が観たい作品を選び映画館で鑑賞する芸術鑑賞を行いました。

生徒たちはホラーやアニメ、特撮など多岐にわたる映画を自由に選択。鈴木校長先生も一緒に鑑賞に参加し、生徒たちはスクリーン特有の迫力を楽しみながら、深く作品の世界観に引き込まれていました。

自らの感性で作品を選び本物に触れる本行事は、豊かな表現力や多様な価値観を育む貴重な機会となります。鑑賞後は作品の魅力を笑顔で語り合う姿が見られ、感性を磨くとともに校長先生をはじめ先生方や友人との絆を深める充実した一日となりました。

「おとなたちへの課題図書」に本校2年生徒が参加！

三省堂書店札幌店で開催中の読書推進企画『おとなたちへの課題図書』に、本校の2年生の生徒が参加しました。

この企画は、高校生が「おとなにこそ読んでほしい本」を自ら選んで、推薦コメントとともに店頭で展示・販売する取り組みです。道内31校の高校が参加する中、**定時制高校としては本校が唯一の参加校**となりました。

自らの感性や視点から選んだ一冊と熱い思いを、社会に向けて堂々と発信してくれました。高校生が選んだ本が書店に並ぶ貴重な機会です。ぜひ店頭でご覧ください。生徒の自主的な挑戦と活躍を大変誇らしく思います。



生徒の皆さん、元気に過ごしていますか？

今年の北定の夏休み期間は一人も生徒が学校に来ない日はたった3日しかありません。部活動、講習、自習、進路活動など様々な活動のために生徒が登校して意欲的に活動しています。

生徒の皆さん、授業を受ける時間がないぶん、他の時間を充実させて有意義な時間を過ごして下さい。